



# 被災地視察ツアー

## in 気仙沼＆南三陸



みんな～はじめまして!!

ツアーと一緒にいくホヤボーやです

オクトパスくんは親友だよ～(^\_^\")



みんな～こんにちは★

ツアーに行くオクトパスくんです!

南三陸町で待ってま～す♪

# 被災地視察研修 気仙沼&南三陸町ツアーハイ行表

8:00 宮教正門前 発  
8:20 七七本店西側 発  
（仙台宮城 ⇒ 一関）  
9:50 長者原SA 着  
休憩  
10:00 長者原SA 発  
  
11:30 気仙沼仮設商店街 着  
昼食  
12:45 気仙沼仮設商店街 発  
  
13:00 旧気仙沼向洋高校 着  
見学  
13:30 旧気仙沼向洋高校 発  
  
14:30 南三陸町防災庁舎 着  
見学  
14:50 南三陸町防災庁舎 発  
  
15:00 戸倉中学校跡地 着  
見学  
15:30 戸倉中学校跡地 発  
  
16:00 津山もくもくランド 着  
休憩  
16:20 津山もくもくランド 発  
※ 春日PA休憩  
17:45 七七銀行本店向かい東二番丁小 着  
  
18:00 宮教大 着



## STAFF

2年 英語コミュニケーションコース

佐々木 奏太 ★南三陸町出身

2年 数学コース

齋藤 佳奈 ★気仙沼市出身

1年 聴覚・言語障害教育コース

三浦 芹香 ★南三陸町出身

1年 聴覚・言語障害教育コース

大坂 凌平 ★南三陸町出身

## ★気仙沼市



・人口 73,489 人(2011 年) → 67,130 人(2015 年)

・世帯 25,457 戸(2011 年) → 26,163 戸(2015 年)

## ★南三陸町



・人口 17,687 人(2011 年) → 13,990 人(2015 年)

・世帯 5,365 戸(2011 年) → 4,642 戸(2015 年)

# ～気仙沼向洋高校～

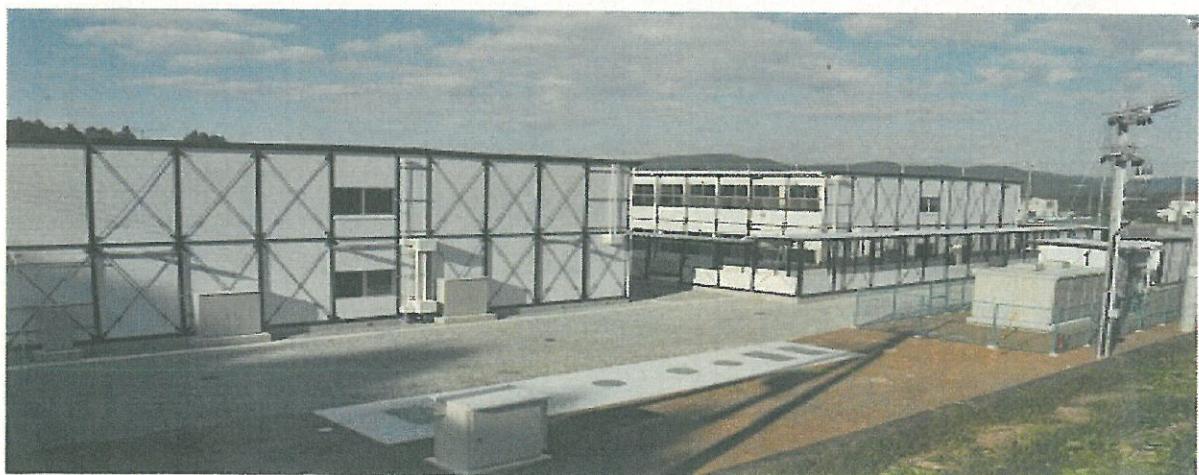
気仙沼で唯一、被害があつた高校です。

屋上まで津波が來たので、よほど大きな津波だったことが分かります。

亡くなつた生徒さんもいます。



現在、気仙沼向洋高校は仮設学校です。気仙沼高校のグランドにあります。再建はまだ先のようです…。



# ☆南三陸町☆

宮城県本吉郡南三陸町について

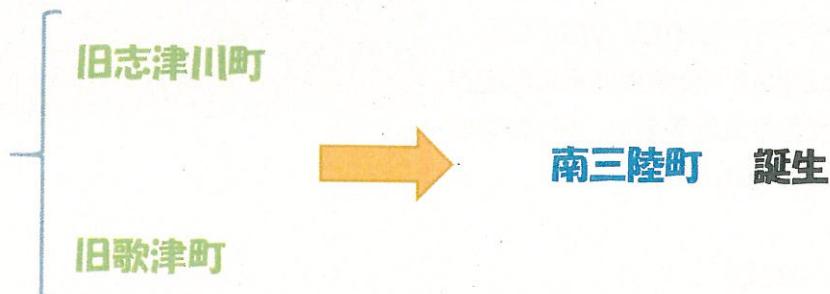


南三陸町の町章

南三陸町は、宮城県の北東部にあります。  
リアス式海岸なので、海産物が沢山されます。  
特に、マダコは「西の明石、東の志津川」と謳われるほど有名です。

総人口 13,620人(推計人口 2015年5月1日)

2005(平成17)年10月1日 「平成の大合併」において



南三陸町役場のすぐ隣に  
防災庁舎がありました。

津波で町役場は跡形  
も無くなってしまい、  
防災庁舎も鉄筋だけが

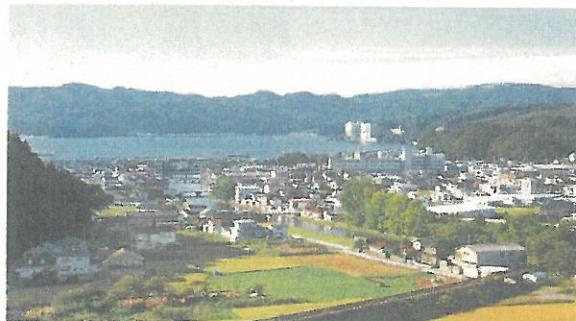




残りました。

南三陸の名海産物のタコをモチーフに生まれた「オクトパス君」は震災前から愛され続いているキャラクターです。震災後は、急成長を遂げ、南三陸町を代表するキャラクターになりました。  
「置くと(試験を)パスする!」という合格祈願へのご利益キャラクターでもあります。

南三陸町のゆるキャラ  
オクトパス君



震災前の町の風景

キラキラとしている青い海と沢山生い茂っている緑の山々に囲まれている自然豊かな町で、景観が素晴らしいものでした。

#### チリ地震津波水位標識

元々、地震や津波が多かったです。  
平安時代にも貞觀地震(869年)と呼ばれる地震が発生し、大津波も引き起っています。



1960(昭和35)年5月24日:チリ沖で5月22日(現地時間)に発生したマグニチュード9.5のチリ地震が引き起こした最大波高6mの津波(チリ地震津波)が三陸海岸に到達し、志津川町(現・南三陸町志津川地区)で41人が死亡するなどの大きな被害が出ました。そのため、町のさまざまな場所にチリ地震津波水位標識が設置されました。しかし、東日本大震災では、逆に被害を大きくしてしまった可能性もあります。

#### 志津川高校情報ビジネス科の生徒 が作成したモアイキャラクター



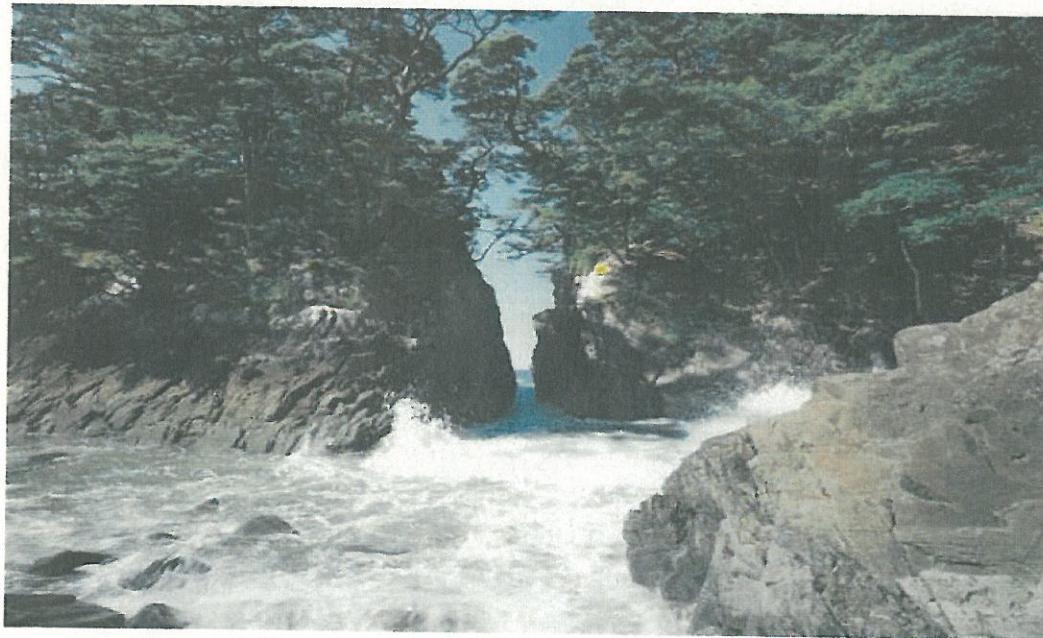
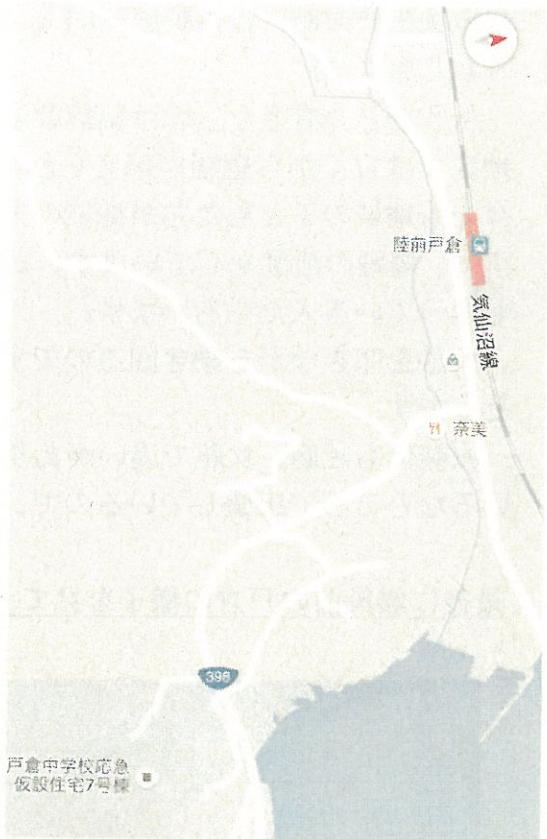
チリ地震津波によって、南三陸町とチリは交友関係を深めてきました。1991年に町がふるさと創生事業の一環としてチリ人彫刻家に依頼して、つくったイースター島のモアイが松原公園に設置され、友好のシンボルとなりました。震災後の2013年5月25日には、イースター島から世界初となる本物のモアイ像が贈られました。

# 南三陸町・戸倉地区マップ

南三陸町には、  
歌津地区 志津川地区  
**戸倉地区** 入谷地区  
と4つの地域があります。

ここでは、今回視察で訪れる戸倉地区を紹介します。戸倉(とぐら)地区は東日本大震災で壊滅的な被害で何もかもが津波で流されました。今は復興が進み建物は増えているように見えますが、実際に高台から見下ろしてみるとまだどこか寂しさが感じられる風景が目に見えると思います。

**戸倉地区は有名な観光スポットがあります！**皆さんには神割崎(かみわりざき)をご存じでしょうか？その昔 一匹のクジラを2つの村がお互いのものと主張し合い争っていました。それを見た神様が空からクジラを真っ二つにしてお互いに分けられるようにしたときにクジラと一緒に真っ二つにされた場所が神割崎といわれるようになりました。村どうしその割れ目を村の境界線にしたのですが、今でも南三陸町と石巻市の境界となっています。



神割崎の写真

○地域伝統芸能 行山流鹿踊(ぎょうざんりゅうししおどり)

もうひとつ有名なものは伝統芸能です。戸倉地区では古くから鹿踊が伝えられてきました。今でも地域の子どもたちが地域の方の指導の下で、鹿踊の活動をしています。私の同級生にも踊っている人たちもいます。

太鼓を叩きながら動き回るのすごく難しそうです…

衣装にも牡鹿、女鹿で違いがあります。いろいろなところで出張しているので、仙台でも踊っていることがあるかもしれません。



最後に震災前の戸倉の様子を見て、実際に見た今の戸倉と見比べ津波の被害について考えてみてください。

